

5. ⑦ 基準費用額（居住費）の見直し

概要

【短期入所系サービス★、施設系サービス】

- 令和4年の家計調査によれば、高齢者世帯の光熱・水道費は令和元年家計調査に比べると上昇しており、在宅で生活する者との負担の均衡を図る観点や、令和5年度介護経営実態調査の費用の状況等を総合的に勘案し、基準費用額（居住費）を60円/日引き上げる。【告示改正】
- 基準費用額（居住費）を下記のとおり見直す。
- 従来から補足給付の仕組みにおける負担限度額を0円としている利用者負担第1段階の多床室利用者については、負担限度額を据え置き、利用者負担が増えないようにする。

単位数

【基準費用額（居住費）】

| | < 現行 > | | < 改定後 > |
|----------------|--------|---|---------|
| 多床室（特養等） | 855円 | | 915円 |
| 多床室（老健・医療院等） | 377円 | | 437円 |
| 従来型個室（特養等） | 1,171円 | ▶ | 1,231円 |
| 従来型個室（老健・医療院等） | 1,668円 | | 1,728円 |
| ユニット型個室的多床室 | 1,668円 | | 1,728円 |
| ユニット型個室 | 2,006円 | | 2,066円 |

補足給付（低所得者の食費・居住費の負担軽減）の仕組み（令和6年8月～）

- 食費・居住費について、利用者負担第1～第3段階②の方を対象に、所得に応じた負担限度額を設定。
- **標準的な費用の額（基準費用額）と負担限度額との差額**を、介護保険から特定入所者介護（予防）サービス費として給付。

負担軽減の対象となる低所得者

| 利用者負担段階 | 主な対象者 | | ※ 平成28年8月以降は、非課税年金も含む。 |
|---------|---|--------------------------------|------------------------|
| | | | 預貯金額（夫婦の場合）（※） |
| 第1段階 | ・生活保護受給者 | | 要件なし |
| | ・世帯（世帯を分離している配偶者を含む。以下同じ。）全員が市町村民税非課税である 老齢福祉年金受給者 | | 1,000万円（2,000万円）以下 |
| 第2段階 | ・世帯全員が市町村民税非課税 | 年金収入金額（※）+合計所得金額が80万円以下 | 650万円（1,650万円）以下 |
| 第3段階① | | 年金収入金額（※）+合計所得金額が80万円超～120万円以下 | 550万円（1,550万円）以下 |
| 第3段階② | | 年金収入金額（※）+合計所得金額が120万円超 | 500万円（1,500万円）以下 |
| 第4段階 | ・世帯に課税者がいる者 ・市町村民税本人課税者 | | |

| | | | 基準費用額 （日額（月額）） | 負担限度額（日額（月額））※短期入所生活介護等（日額）【】はショートステイの場合 | | | |
|-----|-------------|---------|-------------------|--|------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| | | | | 第1段階 | 第2段階 | 第3段階① | 第3段階② |
| 食費 | | | 1,445円（4.4万円） | 300円（0.9万円） 【300円】 | 390円（1.2万円） 【600円（1.8万円）】 | 650円（2.0万円） 【1,000円（3.0万円）】 | 1,360円（4.1万円） 【1,300円（4.0万円）】 |
| 居住費 | 多床室 | 特養等 | 915円（2.8万円） | 0円（0万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） |
| | | 老健・医療院等 | 437円（1.3万円） | 0円（0万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） |
| | 従来型個室 | 特養等 | 1,231円（3.7万円） | 380円（1.2万円） | 480円（1.5万円） | 880円（2.7万円） | 880円（2.7万円） |
| | | 老健・医療院等 | 1,728円（5.3万円） | 550円（1.7万円） | 550円（1.7万円） | 1,370円（4.2万円） | 1,370円（4.2万円） |
| | ユニット型個室の多床室 | | 1,728円（5.3万円） | 550円（1.7万円） | 550円（1.7万円） | 1,370円（4.2万円） | 1,370円（4.2万円） |
| | ユニット型個室 | | 2,066円（6.3万円） | 880円（2.6万円） | 880円（2.6万円） | 1,370円（4.2万円） | 1,370円（4.2万円） |

補足給付（低所得者の食費・居住費の負担軽減）の仕組み（令和7年8月～）

- 食費・居住費について、利用者負担第1～第3段階②の方を対象に、所得に応じた負担限度額を設定。
- **標準的な費用の額（基準費用額）と負担限度額との差額**を、介護保険から特定入所者介護（予防）サービス費として給付。

負担軽減の対象となる低所得者

| 利用者負担段階 | 主な対象者 | | ※ 平成28年8月以降は、非課税年金も含む。 |
|---------|---|--------------------------------|------------------------|
| | | | 預貯金額（夫婦の場合）（※） |
| 第1段階 | ・生活保護受給者 | | 要件なし |
| | ・世帯（世帯を分離している配偶者を含む。以下同じ。）全員が市町村民税非課税である 老齢福祉年金受給者 | | 1,000万円（2,000万円）以下 |
| 第2段階 | ・世帯全員が市町村民税非課税 | 年金収入金額（※）+合計所得金額が80万円以下 | 650万円（1,650万円）以下 |
| 第3段階① | | 年金収入金額（※）+合計所得金額が80万円超～120万円以下 | 550万円（1,550万円）以下 |
| 第3段階② | | 年金収入金額（※）+合計所得金額が120万円超 | 500万円（1,500万円）以下 |
| 第4段階 | ・世帯に課税者がいる者 ・市町村民税本人課税者 | | |

| | | | 基準費用額 （日額（月額）） | 負担限度額（日額（月額））※短期入所生活介護等（日額）【】はショートステイの場合 | | | |
|---------|-------------|-------------------------|-------------------|--|------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| | | | | 第1段階 | 第2段階 | 第3段階① | 第3段階② |
| 食費 | | | 1,445円（4.4万円） | 300円（0.9万円） 【300円】 | 390円（1.2万円） 【600円（1.8万円）】 | 650円（2.0万円） 【1,000円（3.0万円）】 | 1,360円（4.1万円） 【1,300円（4.0万円）】 |
| 居住費 | 多床室 | 特養等 | 915円（2.8万円） | 0円（0万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） |
| | | 老健・医療院 （室料を徴収する場合） | 697円（2.1万円） | 0円（0万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） |
| | | 老健・医療院等 （室料を徴収しない場合） | 437円（1.3万円） | 0円（0万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） | 430円（1.3万円） |
| | 従来型個室 | 特養等 | 1,231円（3.7万円） | 380円（1.2万円） | 480円（1.5万円） | 880円（2.7万円） | 880円（2.7万円） |
| | | 老健・医療院等 | 1,728円（5.3万円） | 550円（1.7万円） | 550円（1.7万円） | 1,370円（4.2万円） | 1,370円（4.2万円） |
| | ユニット型個室の多床室 | | 1,728円（5.3万円） | 550円（1.7万円） | 550円（1.7万円） | 1,370円（4.2万円） | 1,370円（4.2万円） |
| ユニット型個室 | | 2,066円（6.3万円） | 880円（2.6万円） | 880円（2.6万円） | 1,370円（4.2万円） | 1,370円（4.2万円） | |